

【何もすることがない日の散歩】

加藤 誓 (ちかい)

ゴミ出しのついでに植田川沿いを散歩する。

健康のためでもないのに、ぶらりブラリ川岸や川の中を眺めながらゆっくりの散策である。

以前見かけたカルガモの家族、1組はヒナ11羽、もう一組はヒナ5羽の2家族が植田川にいる。

昨日は雨で川は増水となり、まだ飛べないヒナの2家族はどうしているのか気になりながら川を覗き込む。

いつもカルガモが戯れている場所に辿り着いたがいない。心配になり、いつもより上流の郵便局近くまで足を伸ばした。



いた！いた！11羽の家族である。

セメントでできた川岸の高台に5羽、

既に下の川に親カモと6羽のヒナがいる。

高台のヒナが次々川へ飛び込む。最後の1羽が怖いのか飛び込めない。ウロウロと飛び込む場所を探している。

下では、親カモが心配そうに見ている。

10羽のヒナも同じ場所で待っている。

5分いやもっと長い気がしたが、

決心したのかやっと飛び込んだ。

何事もなかったかのように、11羽のヒナと親カモは、揃って川を下りはじめた。

私もUターンし、カモの家族についていった。

どうも、餌は、水草のようである。

ヒナは、それぞれ水草を啄ばみながら下ってゆく。

親カモは餌も食べずにヒナの動きと廻りの安全を見ているようだ。

いつも戯れている場所にたどり着いた。

そこでカルガモの家族に別れをつげた。

帰路の途中、川を上がってくるヒナ5羽の家族を見つけた。

どちらの家族も増水に流されず、ヒナ11羽と5羽を確認し、

幸せな気持ちで散歩を終えた暇な朝であった。

